



ずし子ども0円食堂

ひとりでご飯をたべないでみんなであらう



青い海と みどり豊かな 平和都市

広報 **ずし**

2022
4
NO.962



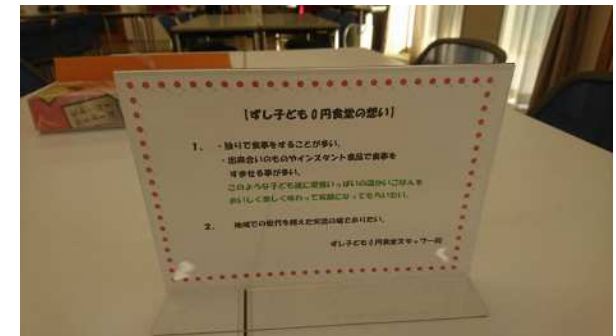
「ずし子ども0円食堂の想い」

- (1)・独りで食事をすることが多い
 - ・インスタント食品などで食事を済ませることが多い

このような子どもたちに愛情いっぱいの温かいごはんを
おいしく楽しく味わって笑顔になってもらいたい。

- (2)地域での世代を越えた交流の場でありたい。

＝ずし子ども0円食堂スタッフ一同＝



活動を通じて、私たちの「想い」をまとめました
この「想い」のもと、多くの皆さんと協働で
あたたかい地域を作っていけたらと願っています

運営

- ・スタッフ:13名
- ・定例会:月1回
- ・運営費:寄付金・助成金
- ・広報:学校ごとにチラシ毎月作成
対象小学校全児童配布
- ・アレルギー確認:毎回ごとに確認



逗子市

人口 56,826人

公立小学校 5校 (うち3校で実施)

公立中学校 3校

小学生 2,751人 中学生 1,455人

(令和4年3月現在)



ずし子ども0円食堂

2016年2月 なんとかしたい二人の市民の「気持ち」から
スタートしました

「子ども食堂」という活動がクローズアップしてきた中

何かできないか？と発起人2人が逗子市社会福祉協議会に集まりました。

一緒に相談をし、仲間を集めるところからスタートしました。

<課題>

スタッフの意思統一

行き帰りの安全と万が一の事故・ケガの対応

保護者の承認と安全

食中毒の対応

アレルギーの対応

個人情報保護

色々な問題を検討し、プレ実施、本格実施を踏まえ、なんとか軌道にのりました。

逗子市の後援をいただいたこと

沼間小学校地区住民自治協議会の協力をいただいたこと
が、活動の定着につながりました。

プレオープン

2016年5月～7月

計3回実施



1回目は、逗子市福社会館で

2回目は、沼間小学校区コミュニティセンターで

3回目は、亀ヶ岡八幡宮社務所で 企画しました。

定期的な実施に最適な場所を探しました

プレオープンの実施から

アンケートの集計結果から出た

合計43人中

- ・朝ごはんや夜ご飯を食べない日がけっこうある子ども 2人
- ・朝ごはんや夜ご飯を食べない日がたまにある子ども 10人

- ・だれもいなくひとりで夜ごはんを食べる日がけっこうある子ども 3人
- ・だれもいなくひとりで夜ごはんを食べる日がたまにある子ども 7人

「何らかの理由で朝ご飯や夜ご飯を食べない子」

「ひとりでご飯を食べている子」は確実にいることがわかりました

ならば私たちにできること

「ひとりでご飯を食べずに

みんなで食べよう」という場づくりを進めていきました

3回のプレオープンを経て2016年8月より定例化

1、沼間小学校地区コミュニティセンター（2016年より）

毎月第1水曜 午後4時～6時半 子ども無料 大人300円のご寄付

※沼間小学校地区住民自治協議会の1プロジェクトとしても位置付け

2、体験学習施設スマイル（2016年より）

毎月第4水曜 午後4時～6時半 子ども無料 大人300円のご寄付

3、土曜食堂 逗子小学校ふれあいスクール（2018年より）

毎月第3土曜 午前10時～12時半 子ども無料 大人300円のご寄付

全て逗子市の後援をいただき実施しています。

公立小・中学校・保育園のご協力をいただき、周知チラシの配布をお願いしています。

人の集まりやすい場所、調理がみんなのできる場所
逗子市のご協力・地域のご協力をいただける
2つの場所で定例化を行いました

沼間小学校地区コミュニティセンター

特徴

- ・ゆったりした和室
→ おもしろおもしろの遊び
- ・広い調理室
→ 調理も広いスペースで
- ・ちょうどよい人数
→ 平均60名の参加者

※2016年8月3日～
2018年2月7日まで
総合計人数1150人です。



ゆったりと思い思いの時間を過ごせる場になりました
リピーター率も多く、子ども達の名前も覚え
子ども達の居場所としても定着してきました

沼間小学校地区コミュニティセンター



調理の手伝いをする子、みんなで楽しく遊ぶ子
宿題をする子、マンガを読む子、ゲームをする子
色々な促しをしながら
みんなで食べる取り組みを毎月続けています

体験学習施設スマイル

特徴

- ・調理と遊び一緒の部屋での実施
→目の行き届く環境
- ・市の学習支援と協働
→中学生もたくさん利用
- ・保育園のお子さんも
→地域での連携ができている
- ・人数が多く、交流の場に
→平均で92人の参加

※2016年8月31日～
2018年1月24日まで
総合計人数1673人。



調理場も少し狭めですが、スタッフ力でカバーしています
逗子で一番大きな公園の中にあるので、
外遊びと中遊びの子と、遊びが広がります
掛け声は外に向かって「おーいごはんだよ～」です♪

土曜食堂 逗子小学校ふれあいスクール

特徴

- ・児童のあそび場での実施
→目の行き届く環境
- ・小規模な実施で関係性向上
→子どもひとりひとりの個性も
- ・若年性認知症の方の参加
→お手伝いとして参加



逗子の放課後遊びの場の休みの日に実施
子どもたちとの関係性も作れて
若年性認知症当事者の方も参加して
あたたかい場になっています

新型コロナウイルス感染拡大⇒お弁当大作戦

新型コロナウイルス感染拡大で0円食堂は中止に。

2021年4月から「お弁当大作戦」に変更。

3つの小学校で予約を取り、お弁当を配布しています。

2021年4月吉日

2021年4月吉日

ずし子ども0円食堂 お弁当大作戦

無料でお弁当を配付します (事前予約制 50個限定)

事前予約方法 ①QRコードから予約フォームにアクセスし予約
②チラシの事前予約申し込み書で予約

☆1はどちらかの方法で予約してください
☆予約申し込み締切日: 2021年4月30日(金)

配付日時 2021年5月5日(水) 17時~17時30分

配付場所 沼間小学校2棟昇降口前

お弁当メニュー 肉団子 ちくわの磯辺揚げ ウインナー 卵焼き
ひじき羹 枝豆 餃子 みたけ ごはん
☆卵・小麦・大豆・豚肉が含まれる食材を使用します。
保護者のご判断をお願いします。

☆お弁当は持ち帰って、家で食べてください。
☆神奈川県 LINE お知らせシステムを導入しています。
☆スタッフの手洗い・消毒・マスク着用など感染予防対策を充分に行います。

後援: 沼間小学校住民自治協議会 国子市市民協議会
問い合わせ先: ずし子ども0円食堂プロジェクト
メール zushi@kodomoshokudou@yahoo.co.jp
電話 090-2424-1465(携帯)

ずし子ども0円食堂 お弁当大作戦 事前予約申し込み書 *校長室前のポストに入れてください
5月5日のお弁当を申し込みます *保護者が記入してください

お子さんの名前 _____ (年生 歳)

保護者の名前 _____ (電話番号 _____)

*常に連絡が可能な電話番号

お住まいの地域 沼間 桜山 その他 (該当地域に○)

申し込み締切日 4月30日(金)



お弁当大作戦

毎月第一水曜日 沼間小学校

毎月第二土曜日 逗子小学校

毎月第四水曜日 池子小学校

季節にあわせたお弁当

愛情込めて作っています



配布は学校で



たくさんのご寄付をいただいて運営

(1) 運営費のご寄付

- ・沼間小学校区住民自治協議会
 - ・国際ソロプチミスト返子・葉山様
 - ・企業・団体・個人でのご寄付
- で運営のためのご寄付

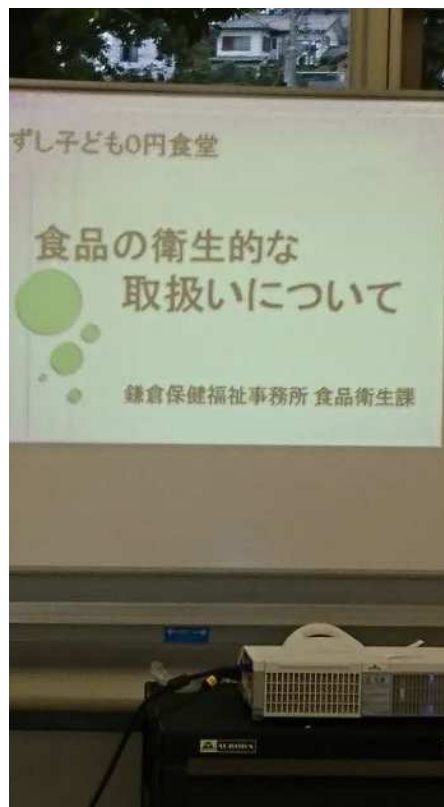
(2) 食材のご寄付

- ・お米
 - ・野菜
 - ・災害用食糧など
- その都度、多くの個人、店舗の方から食材のご寄付をいただいています。



フェイスブックでページを作ったことにより広まり、
本当にたくさんの方のお気持ちをいただき、
地域のあたたかさを実感しています

スタッフ・ボランティア研修も



スタッフ・ボランティアが増えてきたことで
一番大切な「衛生」「安全」に関する研修も実施しました
スタッフのチームワークもばっちりです。

地域との連携

・自治会との連携

沼間は、連合会（沼間小学校地区住民自治協議会）との共催活動として実施
⇒自治会（連合）が応援する「子ども支援活動」として定着

・ボランティアとの連携

子ども食堂はボランティアとして入りやすい活動
新たな若いボランティア（参加保護者等）が拠点ごとに入って活動しています
⇒新たな地域人材の確保

・商店/団体との連携

商店＝食材の寄付、団体＝お金の寄付、顔が見える関係に
⇒地域コミュニティの活性化



地域との連携

・行政（施設）との連携

施設の活性化・施設の実績に

⇒食堂から、子どもたちが普段からたくさん来る場所に

・学校との連携

気になる子に食堂を紹介

⇒地域で見えてくれる「目」に



早くもとの0円食堂の開催をしたい

大丈夫になるまで、もう少しの我慢です。

一人でご飯を食べず、みんなで食べよう！

その場が大切と感じます。

地域の愛情たっぷり♪

ずし子ども0円食堂は、地域の子どもの居場所となっています。

これからも地域の力で、さらに輪を広げ、子ども達と楽しく作っていきます！